

週刊 新社会

発行所:新社会党 発行者:栗原君子
〒104-0006 東京都中央区日本橋本町7-9 京滨興産ビル3F
TEL 03(5643)6002 FAX 03(3589)0150
振替番号00143-3-148727 1カ月600円 郵送料1カ月180円

新社会ちば

2010年5月 100号

発行:新社会党千葉県本部

千葉市中央区新千葉2-1-1新千葉ビル401
TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
メール sinsya@lily.ocn.ne.jp
ホームページ http://www1.ocn.ne.jp/~nspl

米軍基地はどこにもいらない

「憲法・平和のつどい」で市民に呼び掛け



「憲法・平和のつどい」のあと、デモで「平和憲法を守ろう」と市民に訴えた。

憲法記念日の5月3日、千葉市で「5月3日憲法・平和のつどい」実行委員会の主催で集会を行った。デモ行進が行われまし。集会後にデモ行進を行った。即時撤去・辺野古にも200名を超す参加者は、集会後にデモ行進を行った。「普天間基地の即時撤去・辺野古にもいらない」と訴えました。

集いは、「基地はいらない・どこにも」と題された、全国の米軍基地の強化に対する闘いを伝えるDVDの上映か

ら始まりました。

続いている大波修二さん(大和市市議)が「東アジアの平和と日米同盟」をテーマに「政権交

代では変わらない軍事

政策、米軍と一体化す

る日本の自衛隊」を

上げました。

講演では、原子力空母の母港化に反対し、基地のない神奈川を目指す活動や、厚木基地の爆音を止める活動を

住民の苦痛や米軍の実態などを映像を使い具

体的に報告しました。

そして、苦惱を解決するには、平和憲法を遵守し日米の武力を日本からなくすこそだ」と

力説しました。

講演は、基地周辺の住民の苦痛や米軍の実

態などを映像を使い具

体的に報告しました。

参加者との質疑討論では、具体的な闘いに

対する質問や意見が出されました。これが「外國から

らの攻撃に備えること

は必要ではないか」と率直な疑問も出され、若干の討議も行われました。

集会の後のデモ行進は、普天間基地の即時撤去・辺野古にもいらない」と市民に訴えました。

では「普天間基地の即時撤去・辺野古にもいらない」と市民に訴えました。

は必要ではないか」と率直な疑問も出され、若干の討議も行われました。

之島に基地を作るな」と市民に訴えました。

では「普天間基地の即時撤去・辺野古にもいらない」と市民に訴えました。

反基地闘争で 大波氏が講演

講演では、原子力空母の母港化に反対し、基地のない神奈川を目指す活動や、厚木基地の爆音を止める活動を

講演は、基地周辺の住民の苦痛や米軍の実

態などを映像を使い具

体的に報告しました。

そして、苦惱を解決するには、平和憲法を遵守し日米の武力を日本からなくすこそだ」と

力説しました。

講演は、基地周辺の住民の苦痛や米軍の実

態などを映像を使い具

体的に報告しました。

参加者との質疑討論では、具体的な闘いに

対する質問や意見が出されました。これが「外國から

らの攻撃に備えること

は必要ではないか」と率直な疑問も出され、若干の討議も行われました。

之島に基地を作るな」と市民に訴えました。

では「普天間基地の即時撤去・辺野古にもいらない」と市民に訴えました。

は必要ではないか」と率直な疑問も

